

福祉の総合相談窓口を

中野区の条例に学ぶで

東京都中野区では「中野区地域支えあい活動推進条例」を作り取り組んでいきます。猿渡(えんど)久子市議は6月市議会一般質問で、「孤立死が相次ぐなか、中野区の取り組みに学んで別府市で取り入れられることを検討してもらいたい」と求めました。

福祉保健部長は、「慎重な対応が必要と考える。別府市で実施する場合には機構改革を含め全庁体制で取り組まなければならぬと思う。今後、調査・研究させていたただきたい」と答弁しました。

どこに相談したらよいか……

また、えんど市議は「市民の方が相談に行く時にどの課に相談に行けばよいかわからない場合がある。相談しやすいように福祉総合相談窓口を設け、各担当課にご案内する体制が必要ではないか。宇都宮市・姫路市など多くの自治体で設置している。別府市でも設置すべき」と提案しました。

相談しやすく親身な対応を



オカノトラノオ

福祉保健部長は「各窓口の横の連携・研修に力を入れていきたい。総合相談窓口の設置については関係各課と今後調査・検討していきたい」と答弁しました。さらに、えんど久子市議は、お笑い芸人の母親が生活保護を受けていたことがマスコミに取りあげられ、扶養義務の強化や生活保護基準の引き下げを検討したいと厚労大臣が答弁した問題にふれて発言。「日弁連はこの件で慎重な議論を求めている。生活保護は憲法で保障された権利であり敷居を高くしてはならない。生活できない事態がひろがっていることは政治の責任だ」と述べました。

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.517
2012. 7. 11.

えんど久子市議

くり返し改善求める

青山中学

体育館を建てかえます

イスノキの床材いかし

青山中学校の体育館の建て替えが決まり、着工しました。工事費は2億7000万円あまり。

猿渡（えんど）久子市議は10年ほど前から、青中の校舎や体育館の改修や建て替えを議会で行ってきた。

り返し求めてきました。

地域の方も入った検討委員会でも検討され、管理棟と北校舎は歴史のある校舎を活かした大規模改修が行なわれました。体育館については、建て替える際にも現在の床材を活かしてほしいという声を紹介し床材の活用を求め、バリアフリー化や避難所としての配慮についても議会でも求めてきました。



青山中学校新体育館
完成イメージ図

耶馬溪で豪雨被害のボランティア



日本共産党は7月3日の豪雨被害のボランティアに取り組んでいます。えんど久子市議は7月7・8日、平野文活市議は9日に泥だしをお手伝いしました。今後も取り組みます。

（写真は泥出しをするえんど久子市議）

災害に備え物資倉庫も

体育館の床材は鹿児島県産のイスノキという耐久性や保存性が高く光沢がある貴重なものです。

今年6月市議会の議案質疑でのえんど市議の質問に対し、イスノキの床材は体育館の玄関ロビー両脇の仕切り板として設置されると答弁がありました。

また、バリアフリー化され災害時に備えた物資を保管する倉庫も設置される、との答弁でした。

新体育館は1307平方メートル、バスケットコートが3面とれる広さで、完成は来年2月の予定です。